

生産性向上及びトラックドライバーの労働時間改善に関する懇談会について

関東運輸局自動車交通部
貨物課

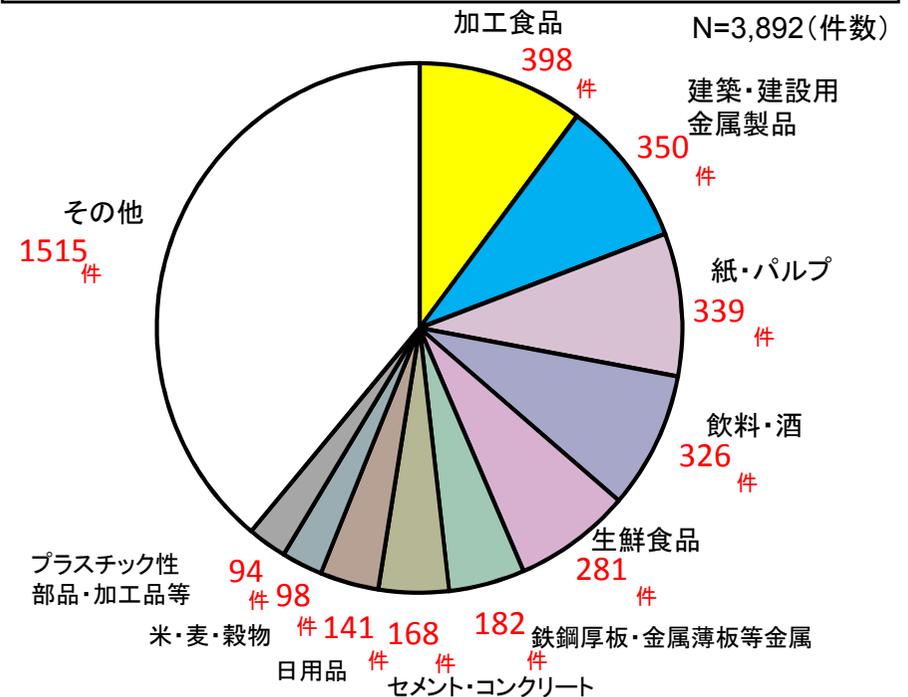
令和2年2月

- 他の産業と比較して長時間労働・低賃金の状況にあるトラック運送業の将来の担い手を確保するためには、荷主等の理解・協力なども得つつ、取引慣行上の課題も含めてサプライチェーン全体で解決を図っていく必要がある。
- 一方、輸送品目によって輸送等の特性が異なる面があり、輸送品目に応じて検討を実施することが効果的な面がある。
- このため、荷待ち件数が特に多い分野等について、それぞれ課題の抽出を図るとともに、各都道府県ごとに発着荷主及び運送事業者が参画して長時間労働の改善を図るために実施したパイロット事業のノウハウの展開等を行う。

検討事項のイメージ

- ・現在生じている課題についての関係者間の認識の共通化
- ・輸送品目ごとのサプライチェーン全体における生産性向上等に関する課題の抽出
- ・改善策について、パイロット事業により得られたノウハウも活用しつつ関係者間で検討・検証
- ・改善策についての展開・浸透

30分以上の荷待ち時間が生じた件数(輸送品目別)



加工食品物流における生産性向上及びトラックドライバーの労働時間改善に関する懇談会について

- トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会において、平成28年度から平成29年度にかけて、発着荷主及び運送事業者が一体となって長時間労働の改善に取り組むパイロット事業を実施。
- パイロット事業では、様々な輸送品目について取組を行ってきたが、個々の輸送品目ごとに抱える課題や特性に違いがあるところであり、関係者が連携して課題解決を図っていく上では、輸送品目別に検討を行うことが効果的。
- 平成29年7月に実施した荷待ち時間の調査において、加工食品関係が件数が最も多かったことも踏まえ、加工食品における物流に関係する幅広い関係者からなる懇談会を設置。
- 関係者間で存在する課題についての意識共有やパイロット事業等のノウハウ等の共有及び取組の展開を図り、トラックドライバーの労働時間の改善・サプライチェーン全体における効率化を図る。

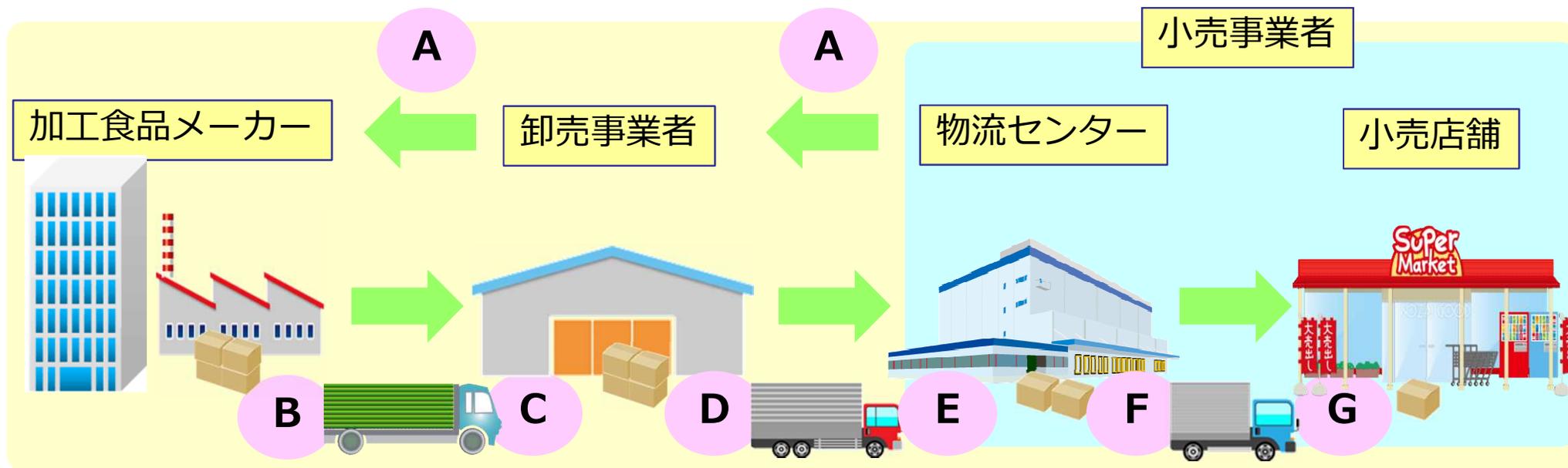
「加工食品物流における生産性向上及びトラックドライバーの労働時間改善に関する懇談会」委員

矢野 裕児	流通経済大学教授（座長）	【行政】	
堀尾 仁	味の素株式会社理事 食品事業本部 物流企画部長	黒澤 朗	厚生労働省労働基準局労働条件政策課長
小谷 光司	三菱食品株式会社ロジスティクス本部 戦略オフィス室長	福井 逸人	農林水産省食料産業局食品流通課長
鷲野 博昭	株式会社セブン・イレブン・ジャパン 物流部 副総括マネージャー	東野 昭浩	農林水産省食料産業局食品製造課長
戸川 晋一	株式会社ヤオコー取締役情報システム部長 兼ロジスティクス推進部長	内田 隆	経済産業省商務・サービスグループ 消費・流通政策課物流企画室長
城内 康秀	一般社団法人日本スーパーマーケット協会 事務局長兼管理部長	飯塚 秋成	国土交通省総合政策局物流政策課長
北條 英	日本ロジスティクスシステム協会 JILS総合研究所 ロジスティクス環境推進センター センター長	中井 智洋	国土交通省大臣官房参事官（物流産業）
西願 廣行	日本冷蔵倉庫協会副会長	伊地知英己	国土交通省自動車局貨物課長
飯原 正浩	株式会社丸和運輸機関常務執行役員	※第1回懇談会	平成30年6月29日
坂本 隆志	全日本トラック協会食料品部会 部会長	第2回懇談会	平成30年12月13日
山内 正彦	全日本トラック協会 審議役	第3回懇談会	平成31年3月25日
		第4回懇談会	令和元年7月3日
		第5回懇談会	令和元年11月21日に開催

昨年度（平成30年6月）に設置した「加工食品物流における生産性向上及びトラックドライバーの労働時間改善に関する懇談会（以下、「加工食品懇談会」という）」では、加工食品物流の問題点・課題として様々な意見が提示され議論を行ってきた。

平成31年3月に開催した第3回懇談会においては、特に以下の4つの施策について、「ホワイト物流」推進運動なども活用しながら関係者による取組の促進を図ることとしつつ、コード類の標準化やガイドラインの整備等も含めて、引き続き検討を行うと整理。

- ・受発注条件の見直し（リードタイムの延長、事前出荷情報の提供、波動の平準化、需給調整在庫の確保）
- ・荷待時間の削減（先着順から予約制への変更、時間指定の柔軟化）
- ・荷役時間の削減（バラ積み貨物のパレット化、パレットサイズの統一、外装段ボールサイズの見直し）
- ・検品時間の削減（3分の1ルールの見直し徹底、年月日表記から年月表記への変更、
事前出荷情報の提供とQRコード等への情報の組み込み、
統一伝票や段ボールなどへの表記の標準化）



発生個所 A・B・D

【小売・卸発注時、メーカー・卸出荷時】

- ・発注から短期間での納品、特定の日に物量が集中
⇒ **【受発注条件の見直し】**

発生個所 C・E・G

【卸・物流センター・小売店舗荷卸し時】

- ・荷卸し場所の処理能力や車両集中に起因する待ち時間の発生
⇒ **【荷待ち時間の削減】**

発生個所 B・C・D・E

【メーカー・卸荷積み時、卸・物流センター荷卸し時】

- ・荷積み・荷卸し時に長時間の荷役作業が発生
⇒ **【荷役時間の削減】**

発生個所 C・E・G

【卸・物流センター・小売店舗荷卸し時】

- ・業界の慣習や目視等による長時間の検品作業
⇒ **【検品時間の削減】**

1. 本年度のアウトプットのイメージ(案)

- ① 関係者による取組を推奨する項目のリスト等から構成される「加工食品物流における「ホワイト物流」推進ガイドライン」(仮称)及び取組の検討に役立つ情報をまとめた参考資料集を作成する。
 - 「ホワイト物流」推進運動ポータルサイトで公開。
 - 加工食品の製造、卸売、小売、物流等の関係者に対し、取組の検討と「ホワイト物流」推進運動の自主行動宣言への反映を要請する。
 - 本ガイドラインを活用し、来年に迫る東京2020オリンピック・パラリンピック大会期間中の対応を含め、荷主と運送事業者の協力による物流効率化のための取組の検討・実施を要請する。
- ② 今後、標準化を進めていくことが期待される事項について取りまとめる。
 - 令和2年度以降、関係団体等に対し、標準化やその検討を働き掛けていく。

2. 他の検討会等との役割分担

「持続可能な加工食品物流検討会」等の他の検討の枠組みで議論されている取組については、その検討成果を活用することなどにより、本懇談会との重複を避けることとする。

紙・パルプ物流における生産性向上及びトラックドライバーの労働時間改善に関する懇談会について

- トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会において、平成28年度から平成29年度にかけて、発着荷主及び運送事業者が一体となって長時間労働の改善に取り組むパイロット事業を実施。
- パイロット事業では、様々な輸送品目について取組を行ってきたが、個々の輸送品目ごとに抱える課題や特性に違いがあるところであり、関係者が連携して課題解決を図っていく上では、輸送品目別に検討を行うことが効果的。
- 平成29年7月に実施した荷待ち時間の調査において、紙・パルプ関係が件数が多かったことも踏まえ、紙・パルプにおける物流に関係する幅広い関係者からなる懇談会を設置。
- 関係者間で存在する課題についての意識共有やパイロット事業等のノウハウ等の共有及び取組の展開を図り、トラックドライバーの労働時間の改善・サプライチェーン全体における効率化を図る。

「紙・パルプ物流における生産性向上及びトラックドライバーの労働時間改善に関する懇談会」委員

洋紙・板紙分野

矢野 裕児 流通経済大学教授(座長)
 伊藤 洋一 日本製紙連合会物流委員会委員長
 有坂 直樹 日本洋紙代理店会連合会物流委員会委員長
 難波 睦雄 日本板紙代理店会連合会白板紙部会長
 井元 伸哉 (株)竹尾 執行役員
 小澤 典由 日本印刷産業連合会 常務理事
 佐藤 行伸 西日本段ボール工業組合 専務理事
 森實 光博 レンゴーロジスティクス(株)代表取締役社長
 上野 正人 JPTransportサービス(株)代表取締役社長
 中島 義弘 王子陸運(株) 代表取締役社長
 星野 良浩 (株)青和トラフィック 執行役員
 近野 裕之 平田倉庫(株) 常務取締役東京支店長
 松崎 宏則 全日本トラック協会 常務理事

※第1回懇談会 平成30年12月6日
 第2回懇談会 平成31年2月27日
 第3回懇談会 令和元年6月25日
 第4回懇談会 令和元年11月14日に開催

家庭紙分野

矢野 裕児 流通経済大学教授(座長)
 今枝 英治 全国家庭紙同業会連合会理事長
 林 廣文 日本家庭紙工業会会長
 藤原 愛三 全国化粧品日用品卸連合会 専務理事
 西井 勝己 (株)浅井 取締役配送システム事業部長
 松崎 宏則 全日本トラック協会 常務理事

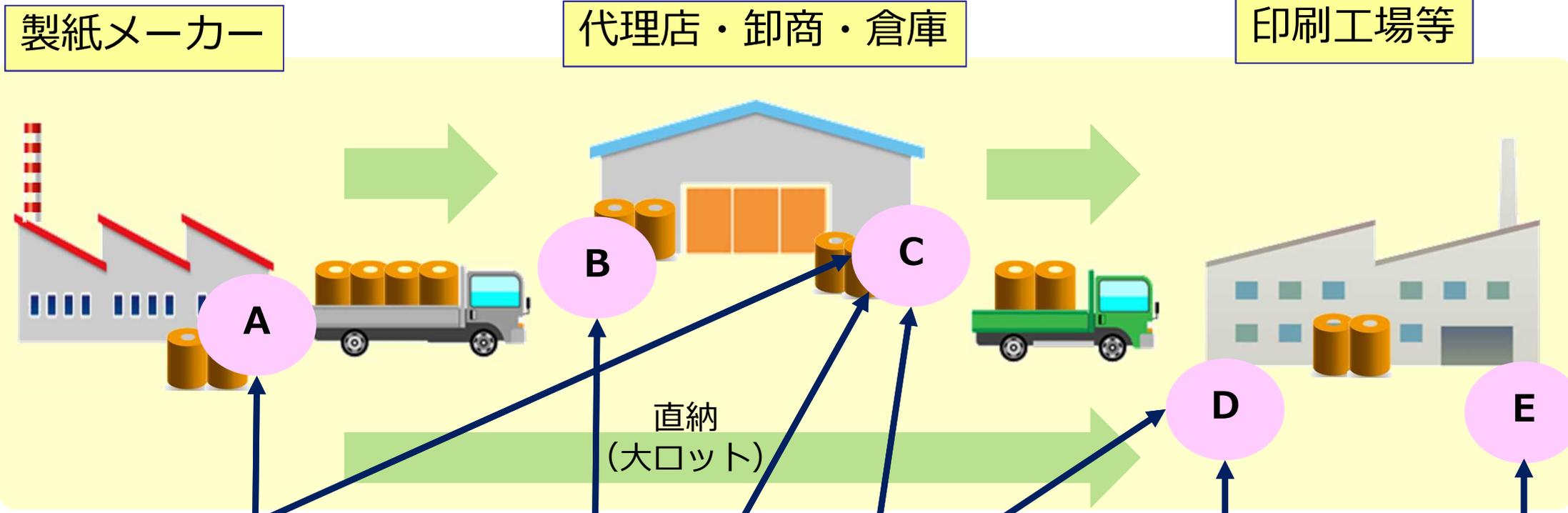
※第1回懇談会 平成30年12月13日
 第2回懇談会 平成31年2月28日
 第3回懇談会 令和元年6月25日
 第4回懇談会 令和元年11月19日に開催

【行政】

黒澤 朗 厚生労働省労働基準局労働条件政策課長
 湯本 啓市 経済産業省製造産業局素材産業課長
 飯塚 秋成 国土交通省総合政策局物流政策課長
 中井 智洋 国土交通省大臣官房参事官(物流産業)
 伊地知英己 国土交通省自動車局貨物課長

紙・パルプ物流(洋紙・板紙分野)の課題の発生個所

※議論の便宜上、網羅的な図とはしていない



発生個所 A・C
【代理店・卸商出荷時】

- ・発注期限が守られない一方、納品時間指定が厳しい

⇒ **論点1**
【リードタイムの確保】

発生個所 B・C・D
【代理店等・印刷工場等荷卸し時】

- ・車両集中による出荷・荷卸し待ち時間の発生

⇒ **論点3** **【荷待ち時間の削減】**

発生個所 C
【代理店・卸商出荷時】

- ・小ロットによる配送効率の低下

⇒ **論点2**
【少量多頻度納品の効率化】

発生個所 D
【印刷工場等荷卸し時】

- ・契約外の荷卸し作業等が発生

⇒ **論点4**
【附帯作業の軽減】

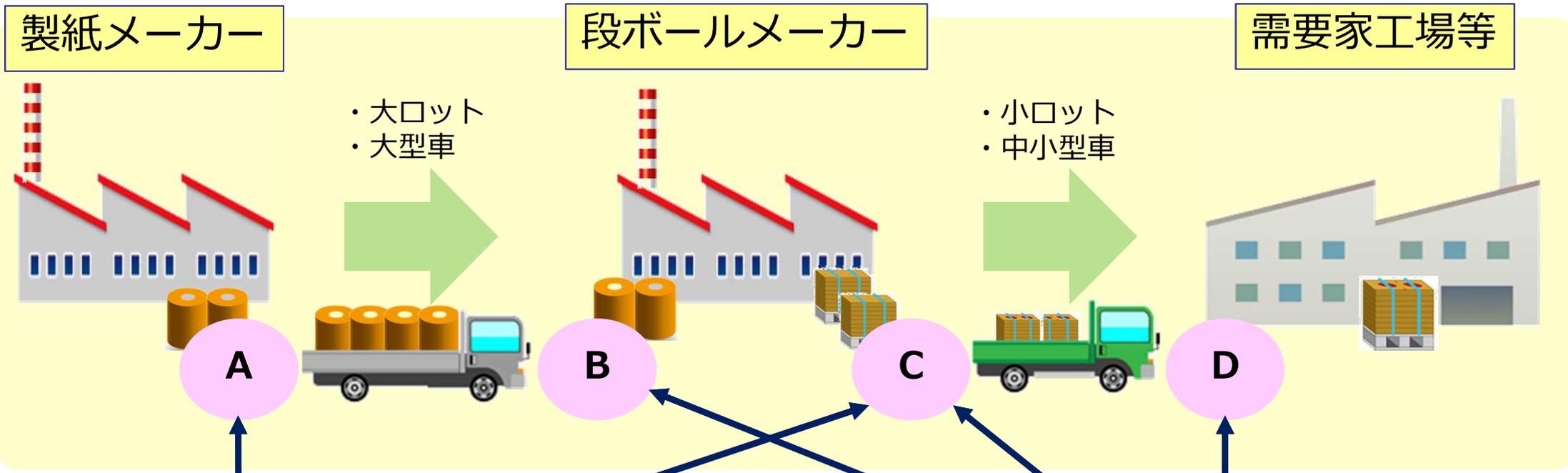
発生個所 E 【印刷工場等出荷時】

- ・特定の日・曜日に物量が集中

⇒ **論点5** **【繁忙差の平準化】**

紙・パルプ物流(段ボール分野)の課題の発生個所

※議論の便宜上、網羅的な図とはしていない



発生個所 A・C 【各所出荷時】

- ・発注期限が守られない一方、納品時間指定が厳しい
- ・小ロットによる配送効率の低下

⇒ **論点6 【リードタイムの確保及び少量多頻度納品の効率化】**

発生個所 B・C・D 【各所出荷・荷卸し時】

- ・車両集中による出荷・荷卸し待ち時間の発生

⇒ **論点3 【荷待ち時間の削減】**

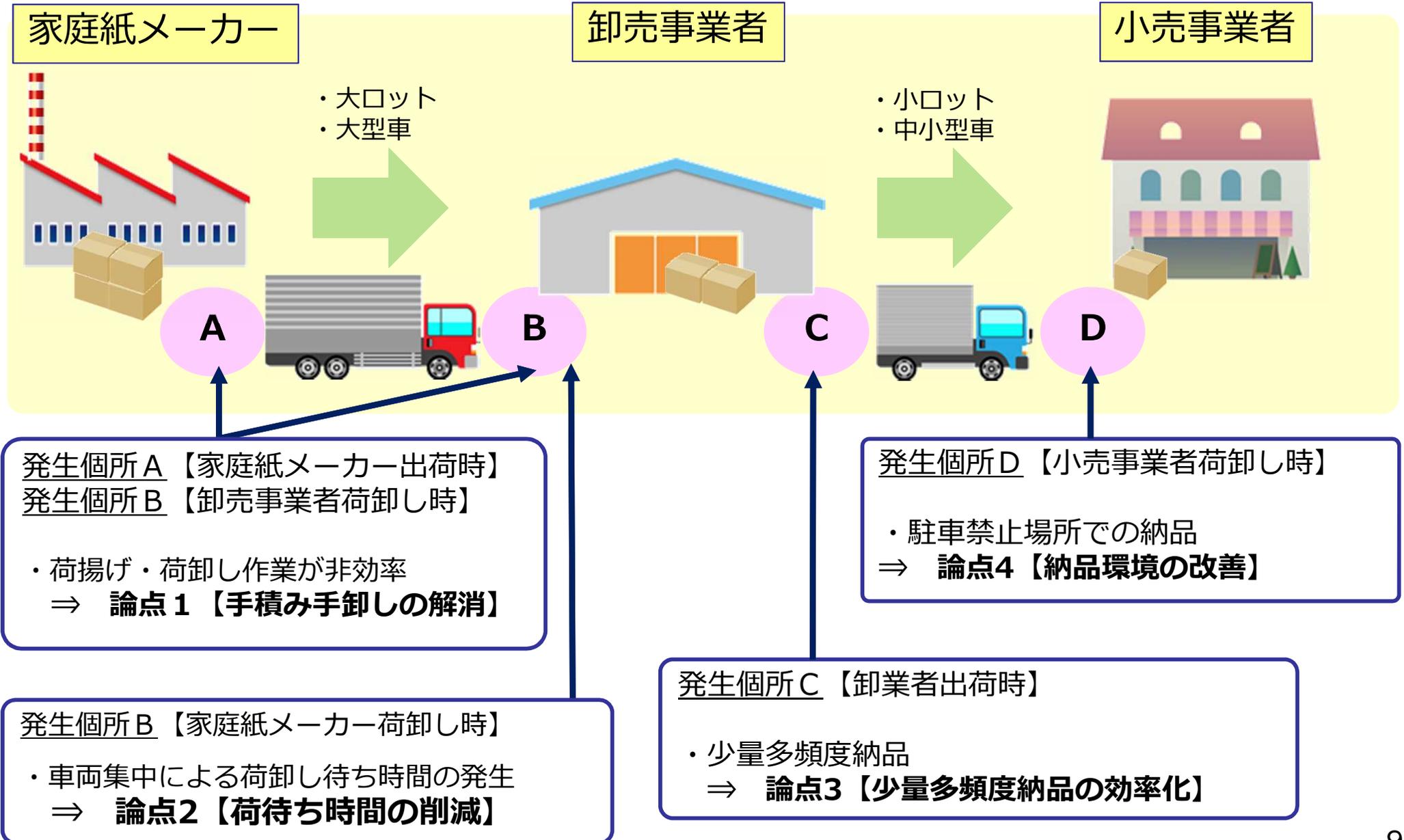
- ・契約外の荷卸し作業などが発生

⇒ **論点4 【附帯作業の軽減】**

再掲：洋紙板紙と同様

紙・パルプ物流(家庭紙分野)の課題の発生個所

※議論の便宜上、網羅的な図とはしていない



1. 今年度のアウトプットのイメージ

- ドライバー不足が深刻化する中、国民生活や産業活動を支える物流機能が滞ることのないよう、懇談会での議論や実証実験等の結果を踏まえ、紙・パルプ分野のサプライチェーン全体での物流改善に向けた取組を促進していくため、取組メニュー例、検討にあたっての手順・留意事項、参考となる取組事例等をまとめた『紙・パルプ分野における「ホワイト物流」推進ガイドライン』（仮称）を作成。

- ➡ 本ガイドラインについては、「ホワイト物流」推進運動とも連動して、紙・パルプの製造、卸売、小売、物流等のサプライチェーンの関係者に広く周知。
- 本ガイドラインを活用して、来年に迫る東京2020オリンピック・パラリンピック大会期間中の対応を含め、荷主と運送事業者の協力による物流効率化のための取組の検討・実施を要請。

2. 検討の進め方

- 第1回懇談会（令和元年6月25日）

- これまでの議論等を踏まえた現状・課題の整理
- 今年度の進め方について

- 第2回懇談会（令和元年秋ごろ）

- 実証実験等の実施状況の報告・共有

- 第3回懇談会（令和2年2月ごろ）

- 実証実験等の結果の報告
- ガイドライン（案）の提示

ガイドラインの策定

令和元年7月～

課題の内容に応じて、以下を実施

実証実験

課題解決に資すると考えられる取組みを試行的に実施し、効果等を検証する

実態調査

課題の発生箇所・発生件数等の実態を調査し、課題の「見える化」を図る

ヒアリング・アンケート

先進的な取組みを行っている事業者等からのヒアリングや、消費者等に対するモニター調査等を行い、取組みに当たってのポイントや課題等を把握する

反映

建設資材物流における生産性向上及びトラックドライバーの労働時間改善に関する懇談会について

- トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会において、平成28年度から平成29年度にかけて、発着荷主及び運送事業者が一体となって長時間労働の改善に取り組むパイロット事業を実施。
- パイロット事業では、様々な輸送品目について取組を行ってきたが、個々の輸送品目ごとに抱える課題や特性に違いがあるところであり、関係者が連携して課題解決を図っていく上では、輸送品目別に検討を行うことが効果的。
- 平成29年7月に実施した荷待ち時間の調査において、建設資材関係が件数が多かったことも踏まえ、建設資材における物流に関係する幅広い関係者からなる懇談会を設置。
- 関係者間で存在する課題についての意識共有やパイロット事業等のノウハウ等の共有及び取組の展開を図り、トラックドライバーの労働時間の改善・サプライチェーン全体における効率化を図る。

「建設資材物流における生産性向上及びトラックドライバーの労働時間改善に関する懇談会」委員

矢野 裕児 流通経済大学教授(座長)
奥田慶一郎 日本建材・住宅設備産業協会専務理事
中野 優 日本建設業連合会建築生産委員会施工部会副部会長
後藤 隆之 日本建設業連合会公共工事委員会生産性向上部会長
山崎 晃生 合同製鐵(株)常務執行役員
青木富三雄 住宅生産団体連合会環境・安全部長
外谷 隆夫 ホームエコ・ロジスティクス(株)
鎮目 隆雄 (株)フコックス代表取締役社長
関 一也 (株)関商運輸 常務取締役
松崎 宏則 全日本トラック協会 常務理事

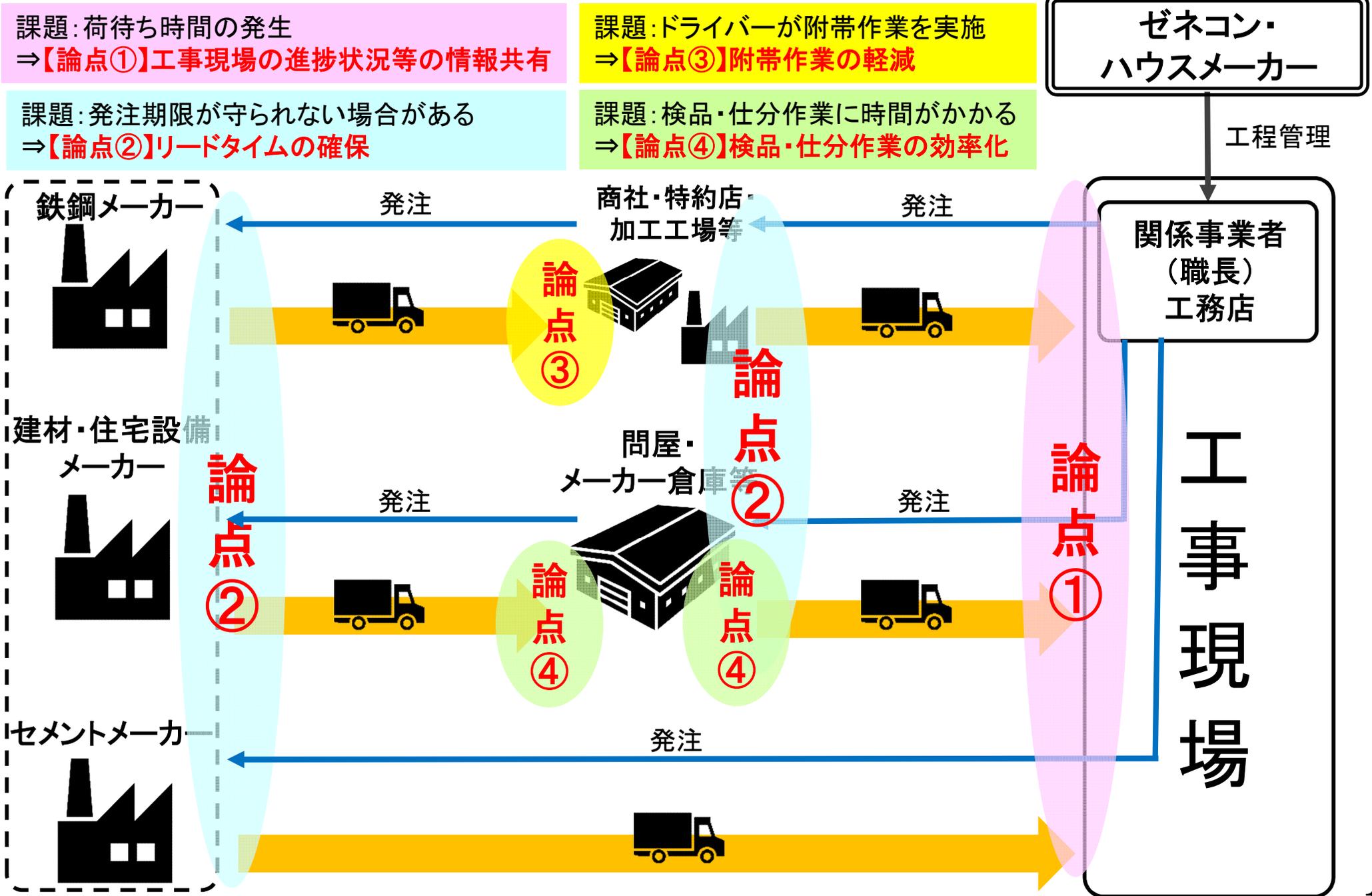
【行政】

黒澤 朗 厚生労働省労働基準局労働条件政策課長
縄田 俊之 経済産業省製造産業局生活製品課住宅産業室長
飯塚 秋成 国土交通省総合政策局物流政策課長
中井 智洋 国土交通省大臣官房参事官(物流産業)
高橋 謙司 国土交通省土地・建設産業局建設業課長
長谷川貴彦 国土交通省住宅局住宅生産課長
伊地知英己 国土交通省自動車局貨物課長

※第1回懇談会を平成30年12月21日、
分科会(戸建・集合住宅)を平成31年3月27日、
第2回懇談会を令和元年7月8日
第3回懇談会を令和元年11月29日に開催

建設資材物流における課題の発生箇所

※議論の便宜上、網羅的な図とはしていない



1. 今年度のアウトプットのイメージ

- ドライバー不足が深刻化する中、国民生活や産業活動を支える物流機能が滞ることのないよう、懇談会での議論や実証実験等の結果を踏まえ、建設資材分野のサプライチェーン全体での物流改善に向けた取組を促進していくため、取組メニュー例、検討にあたっての手順・留意事項、参考となる取組事例等をまとめた『建設資材分野における「ホワイト物流」推進ガイドライン』（仮称）を作成。
 - ➡ 本ガイドラインについては、「ホワイト物流」推進運動とも連動して、建設資材の製造、加工、商社・卸売（小売）、物流、施工事業者等のサプライチェーンの関係者に広く周知。
 - 本ガイドラインを活用して、来年に迫る東京2020オリンピック・パラリンピック大会期間中の対応を含め、荷主と運送事業者の協力による物流効率化のための取組の検討・実施を要請。

2. 検討の進め方

● 第1回懇談会（令和元年7月8日）

- これまでの議論等を踏まえた現状・課題の整理
- 今年度の進め方について

● 第2回懇談会（令和元年秋ごろ）

- 実証実験等の実施状況の報告・共有

● 第3回懇談会（令和2年2月ごろ）

- 実証実験等の結果の報告
- ガイドライン（案）の提示

ガイドラインの策定

令和元年7月～

課題の内容に応じて、以下を実施

実証実験

課題解決に資すると考えられる取組みを試行的に実施し、効果等を検証する

実態調査

課題の発生箇所・発生件数等の実態を調査し、課題の「見える化」を図る

ヒアリング・アンケート

先進的な取組みを行っている事業者等からのヒアリングや、消費者等に対するモニター調査等を行い、取組みに当たってのポイントや課題等を把握する

反映

次年度以降の新たな方策について(「生鮮食品」、「飲料、酒」)

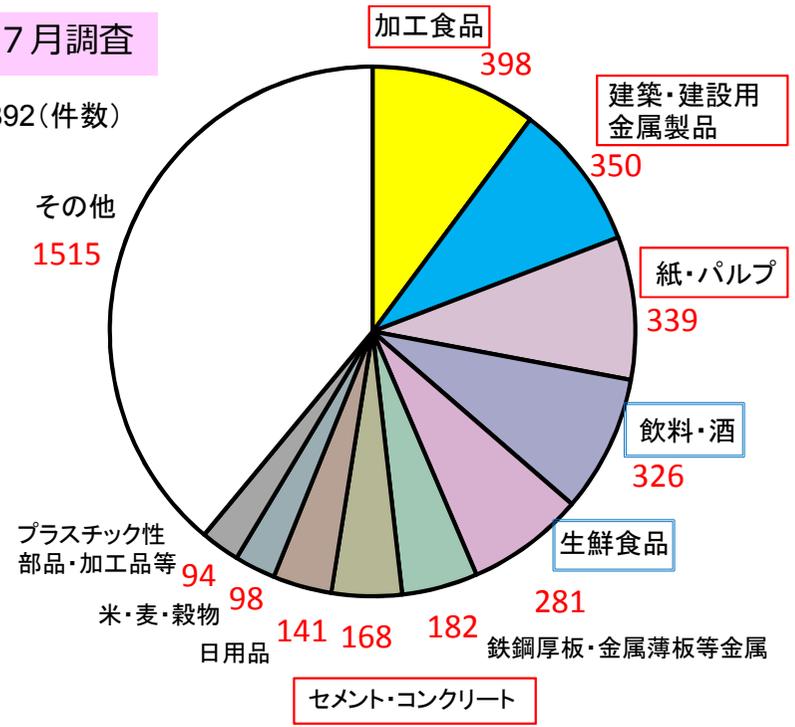
- 平成29年7月に実施した荷待ち時間実態調査において、30分以上の荷待ち時間が生じた件数が多い品目(加工食品、建設資材、紙・パルプ)について懇談会を立ち上げて、課題整理や改善策について検討を行っているところ。
- 平成30年11月に実施した荷待ち時間の実態調査では、すでに懇談会を立ち上げている加工食品、建設資材、紙・パルプの各品目については、依然として30分以上の荷待ち時間が生じた件数が多いことから、引き続き課題解決のための方策について検討・検証を実施する。
- また、上記2度の調査において、荷待ち時間が生じた件数が多かった「生鮮食品」及び「飲料、酒」について、次年度以降の「新たな方策」として懇談会を立ち上げ、課題整理や改善策の検討を実施する予定。

30分以上の荷待ち時間が生じた件数(輸送品目別)

は、既に懇談会を設置している品目
 は、今後懇談会設置を検討する品目

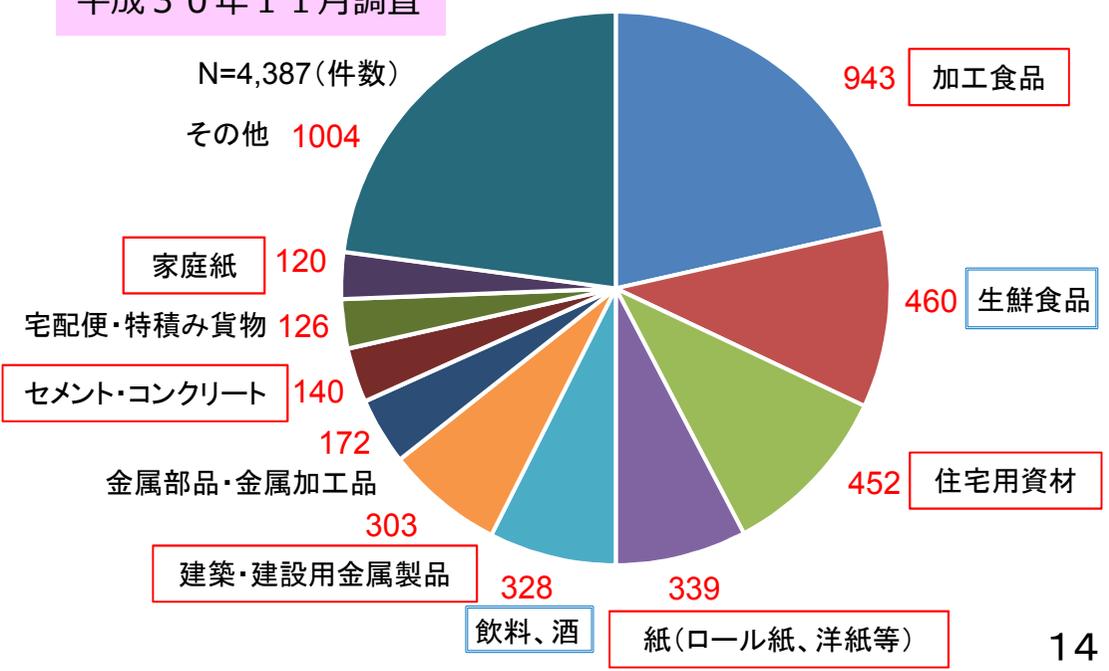
平成29年7月調査

N=3,892(件数)



平成30年11月調査

N=4,387(件数)



「トラック輸送における取引環境・労働時間改善地方協議会」 令和元年度 輸送品目別検討テーマ及びアドバンス事業

○47都道府県の地方協議会における検討テーマ及びアドバンス事業の実施品目が決定。(一部調整中)

○地方協議会における検討テーマの荷種の内訳は、加工食品24件、紙・パルプ17件、建設資材11件となっている。

協議会	検討テーマ	アドバンス事業
北海道	紙・パルプ	紙・パルプ(段ボール)
青森	紙・パルプ	
岩手	加工食品	
宮城	紙・パルプ	
秋田	加工食品	加工食品
山形	加工食品	
福島	建設資材	
茨城	建設資材	
栃木	紙・パルプ	紙・パルプ(段ボール)
群馬	加工食品	
埼玉	紙・パルプ	
千葉	建設資材	
東京	紙・パルプ	紙・パルプ(洋紙・板紙)
神奈川	加工食品	
山梨	加工食品	
新潟	加工食品	
長野	加工食品、紙・パルプ、 建設資材	
富山	建設資材	
石川	加工食品	
愛知	加工食品	加工食品
静岡	紙・パルプ	
岐阜	加工食品、紙・パルプ、 建設資材	
三重	紙・パルプ	紙・パルプ(家庭紙)
福井	加工食品、紙・パルプ、 建設資材	

協議会	検討テーマ	アドバンス事業
大阪	加工食品 紙・パルプ 建設資材	加工食品 紙・パルプ 建設資材
京都		
兵庫		
滋賀		
奈良		
和歌山		
広島	建設資材	建設資材
鳥取	建設資材	
島根	加工食品	
岡山	紙・パルプ	
山口	加工食品、建設資材	
徳島	紙・パルプ	
香川	紙・パルプ	
愛媛	加工食品、紙・パルプ	
高知	加工食品	
福岡	加工食品	
佐賀	加工食品	
長崎	加工食品	
熊本	紙・パルプ	農産物
大分	加工食品	
宮崎	加工食品	
鹿児島	加工食品	
沖縄	加工食品	

実証実験(アドバンス事業)一覧(令和元年11月14日時点 13件)

実施検討中の案件含む

- ①荷待ち時間の削減等
荷種：紙・パルプ（段ボール）
実施主体：段ボールメーカー、物流事業者等
実施地域：北海道
- ②調整中
荷種：加工食品
実施主体：調整中
実施地域：秋田県等
- ③生産計画の共有化による少量多頻度納入の効率化
荷種：紙・パルプ（段ボール）
実施主体：MIZKAN、レンゴー、レンゴーロジ等
実施地域：栃木県
- ④トイレットペーパーのパレット輸送
荷種：紙・パルプ（家庭紙）
実施主体：日本製紙クレシア、家庭紙卸等
実施地域：埼玉県、神奈川県
- ⑤段取りアプリ×動態管理アプリの効果検証
荷種：建設資材
実施主体：建設業者等
実施地域：首都圏で調整中
- ⑥洋紙代理店による印刷工場への共同配送
荷種：紙・パルプ（洋紙）
実施主体：洋紙代理店、印刷事業者等
実施地域：首都圏で調整中
- ⑦輸送容器の返却の効率化、直納ルートの再編
荷種：加工食品
実施主体：加工食品事業者、物流事業者等
実施地域：愛知県
- ⑧家庭紙専用パレット輸送の検証
荷種：紙・パルプ（家庭紙）
実施主体：家庭紙卸、物流事業者等
実施地域：愛知県、三重県

- ⑨食品卸による予約受付システムの効果検証
荷種：加工食品
実施主体：加藤産業等
実施地域：大阪府
- ⑩建材物流コード導入による検品作業の効率化
荷種：建設資材
実施主体：永大産業、東大運輸、ナカザワ建販等
実施地域：大阪府
- ⑪荷待ち時間の削減、附带作業の軽減
荷種：紙・パルプ
実施主体：レンゴー、レンゴーロジ、大和紙器等
実施地域：大阪府、兵庫県
- ⑫建材物流コード導入による検品作業の効率化
荷種：建設資材
実施主体：ウッドワン、三和等
実施地域：広島県、山口県
- ⑬生鮮食品のパレット輸送
荷種：その他（生鮮食品）
実施主体：JA、熊本交通運輸等
実施地域：熊本県等
- ⑭建設資材の附带作業検証
荷種：建設資材
実施主体：建材住設メーカー等
実施地域：未定

